

# 横浜市消費生活推進員とは？

横浜市消費生活推進員は、自治会町内会長からの推薦や公募により募集を行い、市長から委嘱を受けて各地区で活動を行っています。

また、市や区役所で実施する研修等で、消費生活に関する正しい知識とトラブル時に対応できる「消費能力」を身に付け、身に付けた知識を地域の皆さんに広げる活動も行っています。

## 地区マップ

●中区では、8つの地区に分かれて活動しています。各地区を構成する町は以下の通りです。  
(2地区にまたがる町もあります)



**契約などの消費生活トラブルで困った時は、**  
**横浜市消費生活総合センター**にお電話ください。 平日／9:00～18:00  
 相談専用電話 **045-845-6666** 土・日／9:00～16:45

令和4年3月発行

発行：中区消費生活推進協議会(中区役所地域振興課内) 〒231-0021 中区日本大通35番地 TEL:045(224)8140

誰もが安心と活力を実感するまち中区～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～



第47号

暮らしを学ぼう

# 中区消費生活推進員だより

## 消費生活とSDGsって関係あるの？

～こんな身近に！SDGs～

最近よく聞くSDGs、私たちの消費生活とSDGsって関係あるのかしら…？

あります！！

誰一人取り残さないという目標は消費生活推進員と一緒にですね！

**SDGsとは…**  
**Sustainable Development Goals**  
 ～持続可能な開発目標～  
 “誰一人取り残さない”世界の実現を目指す

資源ゴミ もえるゴミ もえないゴミ  
 地産地消の取り組みも… 特殊詐欺の防止も…

ごみの削減・分別も…

**SDGs**  
 実は皆さんの生活にもたくさん隠れています！

●中区の消費生活推進員もSDGsを学び実践しています！

消費生活推進員の声



リサイクルについてより深く学ぶことができました！

持続可能な社会の実現に向けた企業や団体の取組を知れた！

SDGsは難しくなくて、すでに誰もが貢献できている身近なものだと気づけた！

エコプロ2021@東京ビッグサイト

詳細は中面へ！→



# 中区消費生活推進員 SDGs 活動の紹介



11 住み続けられるまちづくりを



寸劇発表 ～詐欺被害防止～  
第6地区

詐欺被害を未然に防止するための啓発活動として、地域の高齢者の集まりで詐欺被害をテーマにした寸劇を発表しました!

17 パートナーシップで目標を達成しよう



## 詐欺被害未然防止啓発 第2地区

新山下ホームセンター前で地域の方々のお話を聞き、注意を呼びかけました。また、パンフレットと共に手作りの「万能オープナー」を配りました。



## 特殊詐欺防止のための啓発講座の開催 関内、埋地、石川打越地区

SDGsの17の目標に則した取組として、正しい情報の発信、温かな見守り、支え合いを目指し、健康に関するミニ講座と、特殊詐欺防止や環境問題をテーマとした寸劇にクイズを組み入れた啓発講座を行っています!



## 特殊詐欺被害防止に向けた啓発 第1地区中部

特殊詐欺被害防止の啓発として、年金支給日に銀行内にて伊勢佐木警察署生活安全課の協力のもと、特殊詐欺被害防止のチラシやグッズを配りながら注意を呼びかける活動を行いました!



12 つくる責任 つかう責任



14 海の豊かさを守ろう



13 気候変動に具体的な対策を



## 金沢資源選別センター見学 第4地区南部、本牧・根岸地区、新本牧地区

私達の家庭から出すビン・缶・ペットボトルのリサイクルについて映像で学び、その後、実際の選別作業を見学しました。リサイクルは私達のごみの出し方から始まっていることを実感しました。



## エコプロ勉強会 第3地区



全体活動として見学に行ったエコプロ2021から、持ち帰った様々な企業や団体の資料を基に、当日参加できなかった推進員と情報を共有して知識を深めました。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 地産地消の取組 第1北部地区

作り手側の自然農法を取り上げ、農作物の購買から稲刈りなどの実体験を通して、考え方の理解を深めました。また農法の底流にある考え方が私たちの日々の生活に取り入れられないか?などのアイデア出しもを行っています!



13 気候変動に具体的な対策を



17 パートナーシップで目標を達成しよう



## へちまを使ったSDGs 第4地区北部

推進員の間で種を配布した後、春から夏にかけて大きく成長し緑のカーテンとして活躍してくれました! また、実はたわしとして利用することで、最後まで人の暮らしに役立ちました。



へちまの実で作ったたわし



## 今後取り組んでいきたいこと

### 協議会

SDGsという社会全体で目指していくゴールを共通点に、横浜市・警察に加え、国連の事務所や民間企業なども協力し、区内の消費生活の向上に一層取り組んでいきたいです。

### 第1北部地区

地消側として、旬毎の調理や保存方法などで農作物の無駄を最小限とする工夫などを実践していきたいと思ひます。また庭の手入れなどに自然農法の手法が活かせるかを試みます。

### 第1地区中部

これまでの年金支給日等に行っていた高齢者向けの啓発に加え、2022年4月より成人年齢が18歳に引き下げられるのにもとない、高校の放課後講座等でも啓発活動を行いたいと思ひます。

### 関内、埋地、石川打越地区

寸劇のDVD等を制作し、各種施設等への配布を考えています。私たちの取組が市民の皆さまの心に届き、温かな支え合いに溢れた、住み続けられるまちづくりにつながることを願ひ、これからも活動してまいります。

### 第2地区

SDGsの知識を深めるために資源ごみの分別リサイクルなどの施設見学を行い、安全・安心に暮らせる持続可能な生活を地域の方々に広めていきたいです。

### 第3地区

自治会・町内会と連携して、SDGsと消費生活の関連、悪徳商法被害防止、ごみ問題等を伝え、より安全で快適な消費生活の推進に取り組んでいきます。

### 第4地区南部、本牧・根岸地区、新本牧地区

ごみの出し方を更に改善するために、プラごみのリサイクルについて学びます。それを地域に還元し、ごみについての理解を広めたいです。併せて、消費生活推進員の役割と活動も伝えたいです。

### 第4地区北部

コロナ禍の中まずは各自でできることを第一に、日常生活におけるecoを推進し、自然エネルギーを活かす取組を、掲示板等を媒体として広めていきたいです。

### 第6地区

今年度実施した、リサイクル推進に向けたチラシの町内会各掲示板への掲出等、SDGsを意識した活動をもっと取り入れていきたいです。